



今月は、「食育月間」、そして「歯と口の健康週間」があります。歯や口の健康に気を付けることは、楽しい食生活を送り、健康な体を維持するためにとっても大切なことです。食事をする時は、しっかりよくかむとさまざまな効果がえられます。ふだんから「かむこと」を意識した食習慣を取り入れましょう。

かむことの効用

弥生時代の卑弥呼の食事はとてもかたい食べ物が多かったといわれています。よくかむことの効用は「ひみこのはがいーぜ」で覚えましょう。

だ液の働き



食べ物が歯をとかすのは本当？

炭酸飲料水や果物など、強い酸性の食べ物は、歯の外側のエナメル質を溶かしやすくします。おやつを食べたり、ジュースを飲んだ後もそのままにせず、しっかりと「うがいや歯みがき」をすることで、じょうぶな歯を保つことができます。



〈学校食事研究会「よく噛む」8大効用〉

6月は食育月間です

毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」と定められています。食育は、生きる上での基本で、知育、徳育、体育の基礎となるものです。生涯にわたって健康にすごすために、「食」について学んでいきましょう。



6月1日は「世界牛乳の日」

国連食糧農業機関（FAO）により定められました。

歯や骨を強くするカルシウムがたくさんとれる牛乳、乳製品をとりましょう。

牛乳を
飲もう！



★さいたま市民の日給食★

給食の時間に「ヌウのランチョンマット」をしき、市内で生産されたお米や野菜をたくさん使用した「さいたま市民の日給食」を味わいました。

※カレーに使用した、「スイスチャード」は、NHKの朝の連続テレビ小説「おむすび」にも登場した野菜で、注目されています。

4月28日（月）

4月30日（水）



6月の献立



6月の第3週16日（月）～20日（金）は、「地場産物活用強化ウィーク」です。さいたま市内や埼玉県で収穫された豚肉や野菜などの農産物をたくさん使用します。

また、30日（月）は、災害用食品「五目ごはん（α化米）」を提供します。防災教育の一環として、また、米の流通量が減少している現状により、さいたま市より提供して頂きます。給食では、衛生管理に基づき、加熱調理したものを提供します。

